

ワイヤレスペンマウス取扱説明書



MA-WHPEN3

MA-WHPEN3
R 201 WW 11215408

MA-WHPEN3RC
R 11215408/AA/00

最初にご確認ください。

確認ポイント

- ワイヤレスペンマウス…1台
- 超小型レシーバー ……1台
- 専用マウスパッド ……1枚
- 携帯用ポーチ ……1個
- ペン先(交換用) ……2個
- ペン先交換金具 ……1個
- 単四乾電池(テスト用)…1本
- 取扱説明書 ……1部

目次

1. マウスの接続手順
2. 特長
3. 警告
4. 健康に関する注意
5. 対応機種・対応OS
6. マウスの準備
7. マウスの接続
8. ID(チャンネル)の設定方法
9. 本製品の使用方法
10. ペン先の交換
11. 「故障かな…」と思ったら

本取扱説明書の内容は、予告なしに変更になる場合があります。
最新の情報は、弊社WEBサイト(<http://www.sanwa.co.jp/>)をご覧ください。

デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更することがございます。
本誌に記載の社名及び製品名は各社の商標又は登録商標です。

サンワサプライ株式会社

保証規定

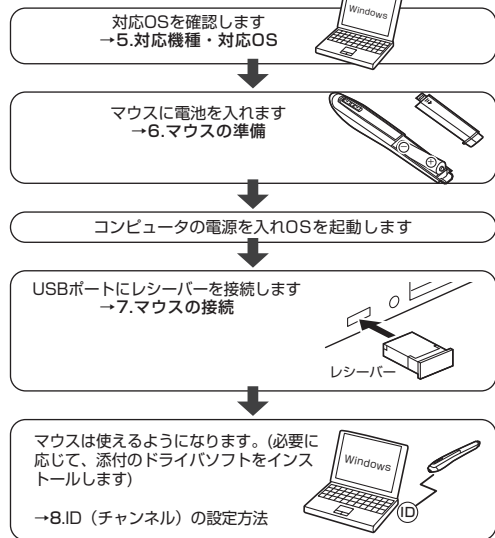
- 1.保証期間内に正常な使用状態でご使用の場合に限り品質を保証しております。
万一保証期間内で故障がありました場合は、弊社所定の方法で無償修理いたしますので、保証書を製品に添えてお買い上げの販売店までお持ちください。
- 2.次のような場合は保証期間内でも有償修理になります。
(1)保証書をご提示いただけない場合。
(2)所定の項目をご記入いただけない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
(3)故障の原因が取扱い上の不注意による場合。
(4)故障の原因がお客様による輸送・移動中の衝撃による場合。
(5)天変地異、ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障及び損傷。
- 3.お客様ご自身による改造または修理があったと判断された場合は、保証期間内での修理もお受けいたしかねます。
- 4.本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の損害については弊社はその責を負わないものとします。
- 5.本製品を使用中に発生したデータやプログラムの消失、または破損についての保証はいたしかねます。
- 6.本製品は医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器などの人命に関わる設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器やシステムなどへの組込みや使用は意図されておりません。これらの用途に本製品を使用され、人身事故、社会的障害などが生じても弊社はいかなる責任も負いかねます。
- 7.修理ご依頼品を郵送、またはご持参される場合の諸費用は、お客様のご負担となります。
- 8.保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- 9.保証書は日本国内においてのみ有効です。

※保証書ラベルを貼付し大切に保管してください。

保証書ラベル貼付欄

1. マウスの接続手順

■マウスを接続するポートにより異なります



詳細は各説明をご覧ください。

2. 特長

この度は、ワイヤレスペンマウスをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本製品は2.4GHz RF方式のワイヤレスマウスですので、入力操作の際ケーブルが邪魔になる煩わしさもなく、快適な環境でのコンピューター操作が可能となります。
しかも超小型レシーバーですので、ノートパソコンに装着した際の出っ張りもわずかで、装着したままの保管や持ち運びの際にも邪魔になりません。
本製品は手書き入力を実現するペンタイプのマウスで、実際のペン同様に自然な筆跡が得られます。

3. 警告

本製品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。
本製品をラジオやテレビ受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取扱いをしてください。

■注意

本製品に対し許可しない変更または加工が加えられた場合、FCCの許可が無効となり、正規の製品としての使用は認められませんのでご注意ください。

4. 健康に関する注意

マウスやトラックボール、キーボードを長時間操作すると、手や腕や首、肩などに負担が掛かり痛みや痺れを感じることがあります。そのまま操作を繰り返していると、場合によっては深刻な障害を引き起こす恐れがあります。
マウスやキーボードを操作中に身体に痛みや痺れを感じたら、直ちに操作を中止し、場合によっては医師に相談してください。
また日常のコンピュータ操作では定期的に休憩を取り、手や腕や首、肩など身体に負担が掛からないように心がけてください。

5. 対応機種・対応OS

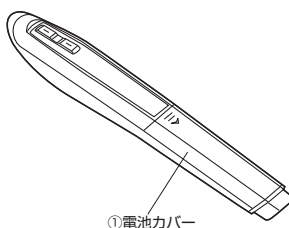
- 対応機種
 - Windows搭載(DOS/V)パソコン
 - Apple Macシリーズ
 - ※USBポート(Aタイプコネクタ)を持つ機種。

- 対応OS
 - Windows 7・Vista・XP・2000及びMac OS X(10.2以降)
 - ※Mac OS X(10.3以降)は、標準インストールされているSafari、Mail、テキストエディット及びFinderなど、OS標準ドライバでスクロール可能なアプリケーションのみスクロール可能です。またホイールボタン押下げによる動作はサポートしません。
 - ※機種により対応できないものもあります。
 - ※この文章中に表記されるその他すべての製品名などは、それぞれのメーカーの登録商標、商標です。

6. マウスの準備(電池の入れ方)

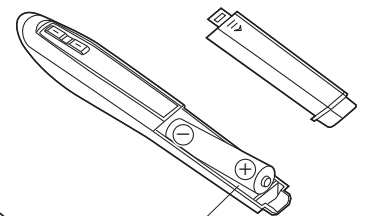
1. マウスの電池カバー①を開きます。(図A参照)
 2. 付属の単四乾電池を電池収納スロット②に入れます。電池を正しい極性で入れてください。(図B参照)
 3. 電池カバー①を閉じます。
 4. 電池を入れるとペン先のセンサーが点灯しますが、しばらくすると消灯します。
 5. 超小型レシーバーをパソコン本体に接続して、リンク状態になると、ペン先のセンサーは点灯します。
- ※マウスを動かした際、動作がスムーズでなくなった場合、電池が少なくなっていますので、すみやかに交換してください。電池交換の際は、単四アルカリ乾電池をご使用ください。(付属の電池はテスト用ですので、電池寿命は短くなっています)
※空になった電池をマウス本体内にそのまま置いておくと液漏れの原因になりますので、取出しておいてください。

<図A>



①電池カバー

<図B>



②電池収納スロット

7. マウスの接続

■本製品をUSBポートに接続する際の注意(Windowsの場合)

本製品はWindowsにおいて自動認識され、使用可能となります。まず始めにUSBインターフェースが正常に動作しているかどうかをチェックしてください。

「スタート」→「設定(S)」→「コントロールパネル(C)」→「システム」の順に選択し、「デバイスマネージャ」タブをクリックしてください。「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」をチェックしてください。右下の画面が表示されます。

これはUSBインターフェースの正常な動作状況です。USBデバイスアイコンに「！」マークが表示されていたり、または「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」のデバイスがなにも見つかからない場合、マザーボードのBIOSをアップグレードしたり、BIOS設定を確認してください。一部の機種ではデフォルトの状態ではUSBポートの使用が不可に設定されています。また「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」のペンター名、デバイス名はマザーボードによって異なることがあります。インテル社以外の記述の際もありますので、本体(マザーボード)メーカーにサポートしてもらってください。



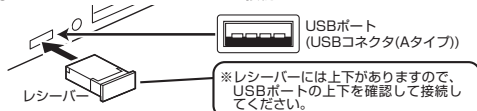
■BIOS上でUSBがdisable/ディセーブル(無効)になっている場合(Windowsの場合)

●BIOS上のUSBをenable/イネーブル(有効)にしてください。通常BIOSの設定はコンピュータ起動時にF1かF2を押すものが多いですが、詳細な設定については、コンピュータ本体の取扱説明書をご覧ください。

■レシーバーの接続(Windowsの場合)

※注意:マウス用レシーバーを接続する前に他のアプリケーション(ウイルス検索ソフトなどの常驻ファイル)を終了させておくことをお勧めします。

- ①パソコンの電源を入れ、Windowsを完全に起動します。
- ②レシーバーをパソコンのUSBポートに接続します。



- ③自動的にハードウェアの検知が始まり、デバイスドライバを更新するためのウィザードが起動します。

〈Windows 7の場合〉
タスクバーに「デバイスドライバソフトウェアをインストールしています。」「USB入力デバイス」と表示されて、自動的にインストールが完了します。

〈Windows Vistaの場合〉
タスクバーに「デバイスドライバソフトウェアをインストールしています。」「USBヒューマンインターフェイスデバイス」と表示されて、自動的にインストールが完了します。

〈Windows XP・2000の場合〉
タスクバーに「新しいハードウェアが見つかりました。」「使用できる準備ができました。」と表示されて、自動的にインストールが完了します。

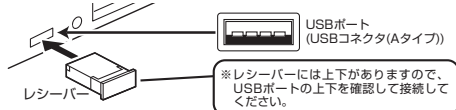


※接続が完了したら、「8.ID設定方法」へ

7. マウスの接続 (続き)

■レシーバーの接続(Mac OS Xの場合)

- ①コンピュータの電源を入れ、Mac OSを完全に起動します。
- ②レシーバーをコンピュータのUSBポートに接続するだけで接続を完了します。



- ③接続が完了したら、ID設定を行います。(8.ID設定方法)へ

※Mac OS X(10.3以降)は、標準インストールされているSafari、Mail、テキストエディット及びFinderなど、OS標準ドライバでスクロール可能なアプリケーションでのみスクロール可能です。またチャットホール押し下げによる動作はサポートしません。

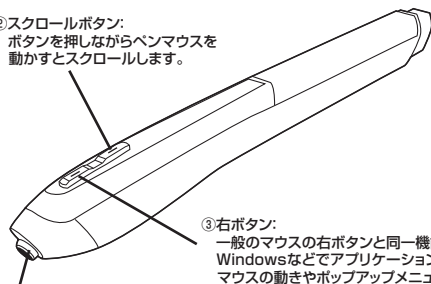
8.ID(チャンネル)の設定方法

※重要 (必ずお読みください)

- レシーバーの接続が完了したら、マウスを動かしてみてください。これでマウスは使えるようになります。マウスを動かしても認識しないときはレシーバーを押し直してください。
- ID(チャンネル)は電波状況に応じて自動的に設定されるAuto Link方式ですが、変更の際、ほんの少しマウスの動きがスムーズでないことがあります。
- 万が一Auto Linkでも電波状況が改善されない場合は、レシーバーを押し直してください。

9.本製品の使用方法

- ②スクロールボタン:
ボタンを押しながらペンマウスを動かすとスクロールします。



注意

本製品は、電池の消耗を押さえるため、しばらくマウス操作を行わないとスリープモードに入ります。マウスを復帰させたい場合は、右ボタンや左ボタンなどをクリックしてください。

- ③右ボタン:
一般のマウスの右ボタンと同一機能を使います。Windowsなどでアプリケーションごとに設定されているマウスの動きやポップアップメニューの表示が出ます。

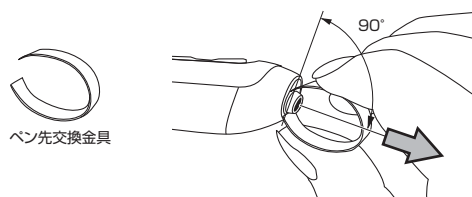
カウント切替

右クリック(③右ボタン)を押しながら同時に先端(①左ボタン)をクリックするとマウスのスピードを切替えることができます。800→1200→400→800カウントの順に切替わります。

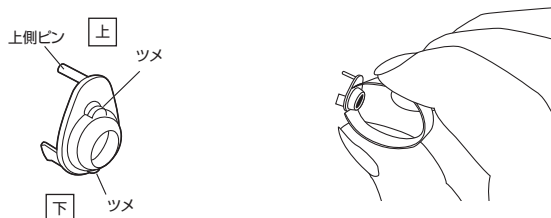
10.ペン先の交換

ペン先が摩擦などで動きが悪くなった時は、ペン先を交換してください。

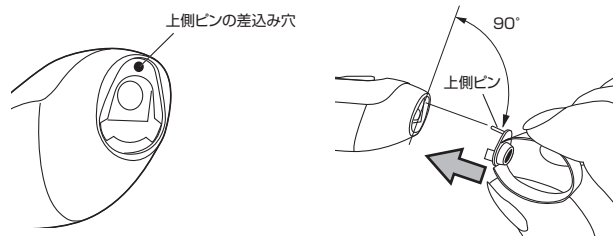
1. ペン先交換金具で、ペン先の上下のツメを挟みます。引き抜く時は、本体先端の斜面に対して直角にまっすぐ引っ張ってください。無理な方向に引っ張ると本体先端内部を傷つけたり、ペン先の一部分が破損して本体先端内部に残り、ペン先の交換ができなくなる場合があります。



2. ペン先交換金具で、新しいペン先の上下のツメを挟みます。挟む時にペン先の上下を確認してから挟んでください。



3. 新しいペン先を本体先端斜面に対し直角にまっすぐに差込みます。ペン先の上側ピンを本体の穴に差してください。上側ピン等を破損しないよう角度に注意して作業をしてください。奥までしっかりと差し込んでください。



11.「故障かな…」と思ったら

Q.マウス(マウスカーソル)が動かない。

- A. 1. マウスに電池が正しく挿入されているか確認してください。(6.マウスの準備参照)
2. レシーバーが正しくUSBポートに接続されているか確認してください。(7.マウスの接続の「レシーバーを接続」参照)
3. 付属の電池はテスト用です。電池が少なくなっているかもしれませんが、新しい電池に交換してください。(6.マウスの準備参照)

Q.マウスをしばらく操作しないと、マウスカーソルが動かなくなる。

- A. 本製品は、電池の消耗を押さえるため、しばらくマウス操作を行わないとスリープモードに入ります。マウスを復帰させるには、右ボタンや左ボタンを押してください。

Q.マウスカーソルやスクロールの動きがスムーズでない。

- A. 1. 光を反射する素材、ガラスなどの透明な素材の上や、規則正しいパターンの上で使用の際は、トラッキング性能が低下する場合があります。
2. 金属面の上では、ワイヤレス信号が乱反射し、スムーズに動かない場合がありますので、厚みのある雑誌やマウスパッド等の上でご使用になってみてください。
3. ワイヤレスLANや携帯電話などのワイヤレス環境の中で、このマウスは無線混信の問題を解決するため、電波干渉が発生した際自動的にチャンネルが切替わるという機能が付いています。チャンネル変更の際、マウスカーソルは少しの間動きが鈍くなる場合がありますが、チャンネル変更後はスムーズな動きに戻ります。これはチャンネルが自動的に切替わる際の症状でマウスの不良ではありません。万が一Auto Linkでも電波状況が改善されない場合は、レシーバーを押し直してください。
4. レシーバーをパソコンの背面など見えにくい位置に接続している場合は、別売りの延長ケーブル(KU-EN1など)を使って、レシーバーを見える位置に出してください。

Q.Internet Explorerでスクロールがスムーズに動かない。

- A. Internet Explorerを起動し、「ツール」→「インターネットオプション」→「詳細設定」で「スムーズスクロールを使用する」のチェックをはずしてください。

Q.Windowsのディスプレイモードに出ているツールカラーを選択するとスクロールの動きがおおしくなった。

- A. 1. ハイカラーモードを選択してください。
2. ツールハイカラーでは、CPUからデータを伝えるのに時間がかかります。このため、スピードコントロールの動きが遅くなるのです。

サンワサプライ株式会社

2012.2現在

岡山サプライズセンター / 〒700-0825 岡山県岡山市北区田町1-10-1 TEL.086-223-3311 FAX.086-223-5123
東京サプライズセンター / 〒140-8566 東京都品川区南大井6-5-8 TEL.03-5763-0011 FAX.03-5763-0033
札幌営業所 / 〒060-0807 札幌市北区北7条西5丁目ストークマンション札幌 TEL.011-611-3450 FAX.011-716-8990
仙台営業所 / 〒983-0851 仙台市宮城野区福岡1-6-37 宝栄仙台ビル TEL.022-257-4638 FAX.022-257-4633
名古屋営業所 / 〒453-0015 名古屋市中村区椿町1-6-7 カジャヤビル TEL.052-453-2031 FAX.052-453-2033
大阪営業所 / 〒532-0003 大阪市淀川区宮原4-1-45 新大阪八千代ビル TEL.06-6395-5310 FAX.06-6395-5315
福岡営業所 / 〒812-0012 福岡市博多区博多駅前中央街8-20第2博多相互ビル TEL.092-471-6721 FAX.092-471-8078

12/02/KTDaNC